

タイエドール®



シメトリン・フルセトスルフロンの
ベンフレセート粒剤

1キロ粒剤

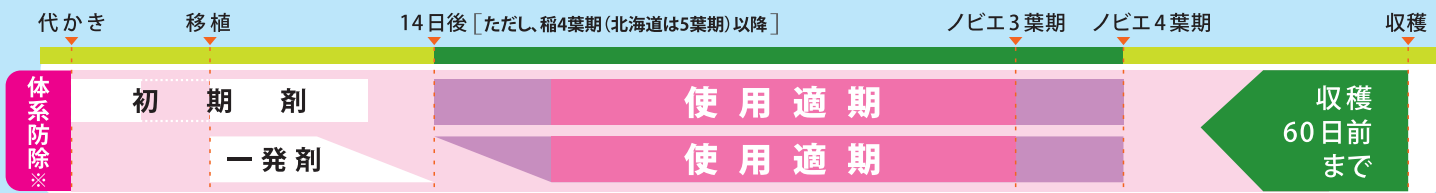
ノビエ4葉期
まで使える
SU抵抗性雑草
にも有効!!



特長

- ① 4葉期までのノビエにすぐれた効果
- ② 難防除多年生雑草にも有効
(クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラ)
- ③ SU抵抗性雑草にも有効
- ④ ゆとりある散布適期

使用例



※地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。

タイスドリ[®]1キロ粒剤



有効成分:シメトリン…4.5% フルセトスルフロン…0.22% ベンフレセート…6.0% 人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北、九州) ミズガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ クログワイ(北海道、九州を除く) オモダカ(北海道、九州を除く) ヒルムシロ コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州) エゾノサヤヌカグサ(北海道) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後14日 ～ノビエ4葉期 但し 収穫60日前まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg	1回	湛 水 散 布	全域(九州の普通期 栽培地帯を除く)の 普通期 及び早期栽培地帯

シメトリンを含む農薬の総使用回数: 2回以内、フルセトスルフロンを含む農薬の総使用回数: 2回以内、ベンフレセートを含む農薬の総使用回数: 2回以内

■使用のポイント



■水管理が重要!

散布時は水の出入りを止め、湛水のまま田面に均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(3～5cm)を保ち、田面を露出させないようにしてください。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

■水稲の葉齢

水稲が4葉期(北海道では5葉期)未満のときは使用しないでください。

■散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので、使用をさけてください。

■使用上の注意事項

- (1) 本剤は移植前後に使用する除草剤との体系で使用してください。
- (2) 本剤の使用時期は、ノビエの4葉期まで、稲が4葉期(北海道は5葉期)以降なので、時期を失しないように散布してください。なお多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。草種ごとの散布適期は下記の通りです。

雑草名	散布適期
ホタルイ	4葉期まで
ヘラオモダカ	4葉期(九州は発生始期)まで
ミズガヤツリ	4葉期(北陸、近畿・中国・四国は3葉期)まで
ウリカワ	3葉期(東北、九州は4葉期)まで
クログワイ	草丈10cmまで
オモダカ	矢じり葉抽出前まで
ヒルムシロ	発生期(東北、近畿・中国・四国は生育期)まで
コウキヤガラ	発生始期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈15cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生始期まで

- (3) 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前～発生始(籾葉抽出期)に有効なので、散布適期を失しないように散布してください。また、必要に応じて有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。
- (4) オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、生育段階によって効果にフレが出るので、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。また、オモダカ、クログワイは有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上します。

- (5) シズイは発生期間が長く、生育段階によって効果にフレが出るので、有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。
- (6) 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- (7) 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 2) 軟弱な苗を移植した水田
 - 3) 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- (8) 著しい高温条件では薬害を生じることがあるので使用をさけてください。また、散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- (9) 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意してください。
- (10) 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- (11) 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
- (12) 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- (13) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。
- (14) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



水稲が4葉期
(北海道は5葉期)
未満のとき



極端な漏水田



軟弱苗を移植したとき、
苗の活着が不十分なとき



異常高温

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

※本印刷物は2023年7月時点での知見に基づいて作成しています。



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページアドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

ホームページの
製品情報へ

